

市民の皆さまには、防災行政をはじめ市政に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、平成26年8月広島土砂災害や平成29年7月九州北部豪雨、平成30年7月豪雨など、甚大な被害をもたらした災害が相次いで発生しております。

このように風水害による被害が全国的に頻発、激甚化するなかで、本市は大分川、大野川という一級河川を有していることから、台風や大雨による浸水被害や土砂災害が懸念されており、いざという時には自らを、そして家族を守るために、何よりも市民の皆さま一人ひとりが風水害を正しく理解し、事前に備えていただくことが大切です。

この「わが家の防災マニュアル（風水害編）」は、皆さんが防災情報の意味を直感的に理解し、避難行動に結びつけていただけるよう5段階の警戒レベルによる避難情報の発信が始まったことを盛り込むとともに、想定しうる最大規模の降雨による洪水ハザードマップ、風水害時の指定緊急避難場所など、風水害から身を守るための行動と備えについて、わかりやすくまとめています。

ご家族で災害対策について話し合っていた際にご活用いただくとともに、地域で防災訓練などを行う場合には、ぜひとも役立てていただきますようお願いいたします。

令和元年8月  
大分市長 佐藤 樹一郎

もくじ

風水害対策

風水害は最も危険な自然災害のひとつです……………1  
警戒レベルと避難のタイミング……………2  
水害・土砂災害時の避難行動を知っておきましょう……………4  
防災気象情報に注意しましょう①……………6  
防災気象情報に注意しましょう②……………8

洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ全体図……………9  
①祓川・賀来川……………10  
②大分川・祓川・住吉川……………12  
③大分川・米良川・住吉川・原川……………14  
④大野川・乙津川・原川・小中島川……………16  
⑤大分川・尼ヶ瀬川・賀来川・七瀬川……………18  
⑥大分川・七瀬川……………20  
⑦大野川・乙津川・北鼻川……………22  
⑧丹生川・尾田川・屋山川・小猫川・志生木川……………24

⑨七瀬川……………26  
⑩大野川・判田川・立小野川・河原内川・戸次古川……………28  
浸水継続時間マップ 大分川水系大分川・七瀬川・賀来川洪水浸水想定区域図……………30  
浸水継続時間マップ 大野川水系大野川・乙津川・判田川・立小野川洪水浸水想定区域図……………31

指定緊急避難場所一覧

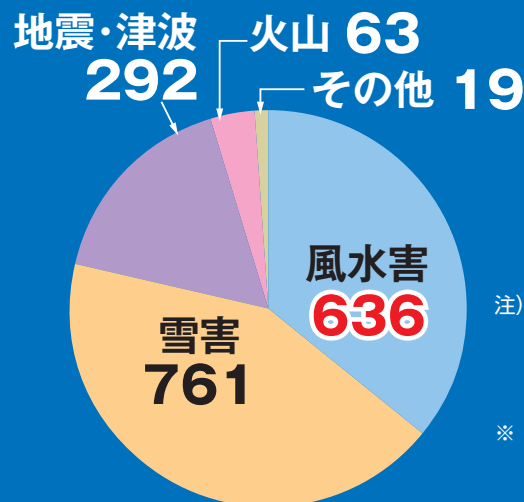
風水害時「指定緊急避難場所」……………32  
「指定緊急避難場所」と「指定避難所」の違いを知っておく……………33

わが家の防災メモ

災害発生時の緊急連絡先、ライフライン関連機関連絡先、家族の連絡先、親せき・知人の連絡先、家族のデータ、洪水・土砂災害時の避難先等記入欄……………裏表紙

# 風水害は最も危険な自然災害のひとつです

日本は地理的、地形的、気象的諸条件から、地震や津波に加え、台風、豪雨、豪雪などの自然災害の多い国です。特に、過去の自然災害による人的被害の推移を見ると、風水害によって亡くなったり、行方不明になったりした人の割合は他の自然災害に比べて多いことがわかります。私たち日本人にとって、風水害は最も危険な自然災害のひとつであると言えるでしょう。



自然災害による死者・行方不明者内訳（単位：人）  
（平成20～29年）  
参考資料「平成30年版防災白書」

注）風水害が最も身近で危険な自然災害であることを理解いただくため、平成23年に発生した東日本大震災の地震・津波による死者・行方不明者についてはカウントしていません。  
※ 地震・津波の死者・行方不明者数の中には震災関連死による死者数も含む。

## さまざまな風水害

### 台風の風 → P8

北西太平洋上で年間約26個が発生し、例年このうち約3個が日本列島に上陸する。最大瞬間風速10m/秒超で樹木全体が揺れ始め、40m/秒超では住家で倒壊するものがある。

### 集中豪雨 → P6 (ゲリラ豪雨)

短時間に狭い範囲で非常に激しい雨が降り続く。洪水や内水氾濫など大きな災害を引き起こす。

### 河川の氾濫(外水氾濫) → P7

堤防が決壊した場合、水は一気に押し寄せる。河川の近くの住民は堤防が壊れ始める前に避難を終えていなければならない。

### 落雷

発達した積乱雲のなかで起こる空中の放電現象。雷が建物や木に落ちて火災が発生したり、人を直撃して高い確率で死に至らしめたりする。

### 竜巻

突発的に発生し、猛烈な風が吹く。強い上昇気流を伴う渦巻きが地表にあるものを吹き飛ばしながら進む。

### 土砂災害 → P7

「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」の3種類がある。ひとたび発生すると人命を奪う危険性が高く、災害が発生する前に避難を終えていなければならない。

### 高潮

台風や強風のために海面（潮位）が上がり、海水が沿岸に押し寄せる。台風の接近で潮位が急激に上昇した場合、強い風雨のために避難が困難になる恐れがある。

### 市街地で水があふれる(都市型水害、内水氾濫) → P6, 7

降雨量が下水道などの処理能力を超え、水が道路などにあふれ出す。河川の氾濫に比べて浸水深は浅い傾向にあるが、地下施設では命にかかわる。